



Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ

この章では、サイト側で設定ファイル、呼び出し音、および背景イメージをカスタマイズする方法について説明します。呼び出し音は、電話機に着信があったときに鳴る音です。背景イメージは、電話機の LCD スクリーンに表示されます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [設定ファイルのカスタマイズと修正 \(P.6-2\)](#)
- [カスタム呼び出し音の作成 \(P.6-3\)](#)
- [カスタム背景イメージの作成 \(P.6-7\)](#)

設定ファイルのカスタマイズと修正

設定ファイルを修正すること（たとえば、xml ファイルを編集すること）や、カスタマイズ（たとえば、カスタム呼び出し音、コールバック トーン、電話機用の背景を変更）したファイルを TFTP ディレクトリに追加することができます。ファイルの修正およびカスタマイズしたファイルの TFTP ディレクトリへの追加は、Cisco IPT Platform Administration の TFTP Server File Upload ページで行うことができます。Cisco Unified CallManager サーバの TFTP フォルダにファイルをアップロードする方法については、『*Cisco IP Telephony Platform Administration Guide*』を参照してください。

Ringlist.xml ファイルおよび List.xml ファイルのコピーは、admin コマンドライン インターフェイス（CLI）で次のように file コマンドを使用してシステムから取得できます。

- admin:file
 - file list*
 - file view*
 - file search*
 - file get*
 - file dump*
 - file tail*
 - file delete*

カスタム呼び出し音の作成

Cisco Unified IP Phone は、Chirp1 と Chirp2 という 2 つのデフォルト呼び出し音タイプがハードウェアに実装された状態で出荷されます。Cisco Unified CallManager ではさらに、追加のデフォルトの呼び出し音がパルス符号変調 (PCM) ファイルとしてソフトウェアに実装されています。これらの PCM ファイルは、サイトで利用できる呼び出し音のリスト オプションを記述する XML ファイル (Ringlist.xml) とともに、各 Cisco Unified CallManager サーバの TFTP ディレクトリに格納されています。

詳細については、『Cisco Unified CallManager Release 5.0 (1) システム ガイド』の「Cisco TFTP」の章および『Cisco IP Telephony Platform Administration Guide』の「Software Upgrades」の章を参照してください。

次の各項では、サイトで PCM ファイルを作成し、RingList.xml ファイルを編集して、サイトで利用可能な電話機の呼び出し音をカスタマイズする方法について説明します。

- [Ringlist.xml のファイル形式の要件 \(P.6-3\)](#)
- [カスタム呼び出し音の種類に対する PCM ファイルの要件 \(P.6-5\)](#)
- [カスタム呼び出し音の設定 \(P.6-5\)](#)

Ringlist.xml のファイル形式の要件

Ringlist.xml ファイルは、電話機の呼び出し音の種類のリストが含まれている XML オブジェクトを定義します。このファイルには、最大 50 種類の呼び出し音が設定できます。各呼び出し音の種類には、その呼び出し音の種類で使用される PCM ファイルへのポインタと、その呼び出し音に対して Cisco Unified IP Phone に表示される [呼出音タイプ] メニューのテキストが含まれています。このファイルは、各 Cisco Unified CallManager の Cisco TFTP サーバに保存されています。

■ カスタム呼び出し音の作成

CiscoIPPhoneRinglist XML オブジェクトは、次の単純なタグ セットを使用して、この情報を記述します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName/>
    <FileName/>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

定義名には、次の特徴があります。各呼び出し音の種類に対して、必須の DisplayName と FileName を含める必要があります。

- DisplayName は、PCM ファイルに対応するカスタム呼び出しの名前で、Cisco Unified IP Phone の [呼出音タイプ] メニューに表示されます。
- FileName には、DisplayName に関連付けられたカスタム呼び出し音の PCM ファイルの名前を指定します。



(注)

DisplayName フィールドおよび FileName フィールドは、25 文字以下でなければなりません。

この例では、2 つの呼び出し音の種類を定義する RingList.xml ファイルを示します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName>Analog Synth 1</DisplayName>
    <FileName>Analog1.raw</FileName>
  </Ring>
  <Ring>
    <DisplayName>Analog Synth 2</DisplayName>
    <FileName>Analog2.raw</FileName>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

カスタム呼び出し音の種類に対する PCM ファイルの要件

呼び出し音の PCM ファイルが Cisco Unified IP Phone で正しく再生されるためには、次の要件を満たす必要があります。

- Raw PCM（ヘッダーなし）
- 8000 サンプル / 秒
- 8 ビット / サンプル
- uLaw 圧縮
- 最大呼び出し音サイズ：16080 サンプル
- 最小呼び出し音サイズ：240 サンプル
- 呼び出し音のサンプル数が 240 の倍数
- 呼び出し音の開始と終了がゼロ クロッシング
- カスタム呼び出し音用の PCM ファイルを作成するには、次のファイル形式の要件に対応する任意の標準オーディオ編集パッケージを使用します。

カスタム呼び出し音の設定

Cisco Unified IP Phone 用のカスタム呼び出し音作成するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** カスタム呼び出し音ごとに、1 つの PCM ファイルを作成します (1 ファイルにつき 1 呼び出し音)。PCM ファイルが、[P.6-5 の「カスタム呼び出し音の種類に対する PCM ファイルの要件」](#)に示す形式のガイドラインに準拠していることを確認します。
- ステップ 2** 作成した新しい PCM ファイルを、クラスタ内の各 Cisco Unified CallManager の Cisco TFTP サーバにアップロードします。詳細については、『*Cisco IP Telephony Platform Administration Guide*』の「Software Upgrades」の章を参照してください。
- ステップ 3** テキスト エディタを使用して Ringlist.xml ファイルを編集します。このファイルの形式とサンプルの Ringlist.xml ファイルについては、[P.6-3 の「Ringlist.xml のファイル形式の要件」](#)を参照してください。

ステップ 4 変更を保存して Ringlist.xml ファイルを閉じます。

ステップ 5 新しい Ringlist.xml ファイルをキャッシュするには、Cisco Unified CallManager Serviceability を使用して TFTP サービスを停止してから起動するか、Enable Caching of Constant and Bin Files at Startup TFTP サービス パラメータ (Advanced Service Parameters に含まれる) をディセーブルにしてから再度イネーブルにします。

カスタム背景イメージの作成

ユーザが電話機の LCD スクリーンに表示される背景イメージを選択できるように設定することができます。ユーザが背景イメージを選択するには、電話機で [設定] > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。

ユーザに表示される選択可能なイメージには、電話機が使用する TFTP サーバに格納されている PNG イメージと XML ファイル (List.xml) が使用されます。独自の PNG ファイルを格納したり、TFTP サーバ上の XML ファイルを編集したりすることによって、ユーザが選択できる背景イメージを指定できます。この操作により、会社のロゴなどのカスタムのイメージを提供できます。

次の各項では、独自の PNG ファイルを作成し、List.xml を編集して、サイトで利用可能な背景イメージをカスタマイズする方法について説明します。

- [List.xml ファイル形式の要件 \(P.6-7\)](#)
- [カスタム背景イメージ用の PNG ファイルの要件 \(P.6-8\)](#)
- [背景イメージの設定 \(P.6-9\)](#)

List.xml ファイル形式の要件

List.xml ファイルは、背景イメージのリストが含まれている XML オブジェクトを定義します。List.xml ファイルは、TFTP サーバに保存されています。

詳細については、『Cisco Unified CallManager Release 5.0(1) システム ガイド』の「Cisco TFTP」の章および『Cisco IP Telephony Platform Administration Guide』の「Software Upgrades」の章を参照してください。

List.xml ファイルには、最大 50 種類の背景イメージが設定できます。イメージは、電話機の [背景イメージ] メニューに表示される順に並んでいます。List.xml ファイルには、1 つのイメージごとに ImageItem という要素タイプが入っています。ImageItem 要素には、次の 2 つのアトリビュートが含まれています。

- Image: 電話機の [背景イメージ] メニューに表示されるサムネールイメージを電話機がどこから取得するかを指定する Uniform Resource Identifier (URI)
- URL: 電話機がフルサイズのイメージをどこから取得するかを指定する URI

次の例では、2つのイメージを定義する List.xml ファイルを示します。必須アトリビュートのイメージと URL は、各イメージに対して指定する必要があります。例で示されている TFTP URI は、フルサイズイメージとサムネールイメージにリンクする方法として唯一サポートされている方法です。HTTP URL はサポートされていません。

List.xml の例

```
<CiscoIPPhoneImageList>
<ImageItem Image="TFTP:Desktops/320x196x4/TN-Fountain.png"
URL="TFTP:Desktops/320x196x4/Fountain.png" />
<ImageItem Image="TFTP:Desktops/320x196x4/TN-FullMoon.png"
URL="TFTP:Desktops/320x196x4/FullMoon.png" />
</CiscoIPPhoneImageList>
```

Cisco Unified IP Phone のファームウェアには、デフォルトの背景イメージが含まれています。このイメージは、List.xml ファイルには定義されていません。デフォルト イメージは、常に電話機の [背景イメージ] メニューの最初に表示されます。

カスタム背景イメージ用の PNG ファイルの要件

各背景イメージには、次の 2 つの PNG ファイルが必要です。

- フルサイズ イメージ：電話機に表示されるイメージ。
- サムネール イメージ：ユーザがイメージを選択する [背景イメージ] 画面に表示されるイメージ。フルサイズイメージの 25% のサイズにする必要があります。



ヒント

多くのグラフィックス プログラムでは、グラフィックスのサイズを変更する機能があります。サムネールイメージを簡単に作成するには、まずフルサイズイメージを作成して保存した後、グラフィックス プログラムのサイズ変更機能を使用して、そのイメージから元の 25% のサイズのイメージを作成します。サムネール イメージは、別名で保存します。

背景イメージの PNG ファイルが Cisco Unified IP Phone で正しく表示されるためには、次の要件を満たす必要があります。

- フル サイズ イメージ : 320 ピクセル (幅) X 196 ピクセル (高さ)
- サムネール イメージ : 80 ピクセル (幅) X 49 ピクセル (高さ)



ヒント

グレースケールのポスタリゼーション機能をサポートしている画像処理プログラムを使用している場合は、チャンネル当たりの色調レベル数を 16 に設定します。イメージのポスタリゼーションは 16 階調のグレースケールになります。

背景イメージの設定

Cisco Unified IP Phone 用のカスタム背景イメージを作成するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 1 つのイメージあたり、2 つの PNG ファイル (フル サイズ イメージとサムネール イメージ) を作成します。PNG ファイルが、[P.6-8 の「カスタム背景イメージ用の PNG ファイルの要件」](#) に示す形式のガイドラインに準拠していることを確認します。

ステップ 2 作成した新しい PNG ファイルを、クラスタ内の各 Cisco Unified CallManager の TFTP サーバにアップロードします。詳細については、『*Cisco IP Telephony Platform Administration Guide*』の「Software Upgrades」の章を参照してください。



(注)

カスタム イメージ ファイルは、バックアップ コピーを別の場所にも格納することをお勧めします。こうしておくと、Cisco Unified CallManager のアップグレード時にカスタマイズ ファイルが上書きされた場合に、これらのバックアップ ファイルを使用できます。

ステップ 3 テキスト エディタを使用して List.xml ファイルを編集します。このファイルがある場所、形式の要件、およびサンプル ファイルについては、[P.6-7 の「List.xml ファイル形式の要件」](#)を参照してください。

ステップ 4 変更を保存して List.xml ファイルを閉じます。



(注) Cisco Unified CallManager をアップグレードすると、カスタマイズした List.xml ファイルがデフォルトの List.xml ファイルによって上書きされます。List.xml ファイルをカスタマイズした後、ファイルのコピーを作成して別の場所に保存しておきます。Cisco Unified CallManager のアップグレード後、デフォルトの List.xml を保存しておいたコピーに置き換えることができます。

ステップ 5 新しい List.xml ファイルをキャッシュするには、Cisco Unified CallManager Serviceability を使用して TFTP サービスを停止してから起動するか、Enable Caching of Constant and Bin Files at Startup TFTP サービス パラメータ (Advanced Service Parameters に含まれる) をディセーブルにしてから再度イネーブルにします。